

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で利用者一人ひとりが意欲を持てるような、笑顔の絶えない明るい生活を支援することを理念としている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員で決めたグループホームの運営理念を暗記し、深く理解することから理念としての「笑顔」を職員全員が実践している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区公民館の文化祭に出品したり、老人クラブの人の定期的な訪問や茶話会、近隣の人が花を持ってこられるなど、少しずつ地域住民との交流が広がってきている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員がそれぞれで行い、まとめたものである。外部評価の結果は職員会で報告し、改善に向けての取り組みをしている。		

宮崎県宮崎市 認知症高齢者グループホーム悠悠

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は年4回の開催を予定している。同法人の他施設の会議室で行ってきたが、今回はホームで利用者の日々の様子を見ながら開催したところ、ホームを理解していただく良い機会となった。	○	運営推進会議は2か月に1回の開催と議題に自己評価及びに対する報告や意見を聞くなど、これからの取り組みに期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に地域包括支援センターの職員の参加があるほか、運営推進会議に関する資料提供や研修会等を通し、連携を図っている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の面会時を利用して健康状態等を知らせている。行事等の様子はアルバムにしたり、編集した写真を壁に掲示して、利用者と家族で見てもらおうようにしている。金銭管理は個人出納帳と預かり金台帳に記載し、家族に3か月に1回確認印をもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族懇談会や面会時に、相談や意見等を聞くようにし、内容によっては職員と話し合い、家族に納得のいくように対応している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	なじみの関係を保つために、職員の異動や離職を最小限に抑える工夫を組織全体で行っている。また、管理者が新任職員に調理等の指導するなど、利用者や家族に不安がないように配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員研修は年間事業以外にも自己研さんのために、法人外の研修に参加し、報告書を提出、職員会等で報告している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームの利用者との定期的な相互訪問交流の中で、職員もいろいろな事を学びサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームを利用する前に、現在利用しているサービス事業所に面会に行き、顔なじみの関係を作ったり、ホームの見学をしてもらい、納得した上で入居してもらっている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は介護するだけでなく、利用者に竹の子の調理法やにがうりの収穫時期を教えてもらうなど共に支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は常に利用者本位に考えており、耳を傾け、何を望んでいるか、表情や言葉から不穏時の対応も心得ており、どのようなケアが必要かを把握している様子がかがえた。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の要望を聞き、担当職員と話し合いそれぞれの意見を取り入れた介護計画を作成している。また、支援経過も記録されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は支援経過や状態変化に応じ随時の見直しと、作成後より1か月後、3か月後、6か月後の見直しを行い、状況によっては暫定プランにて対応し認定変更の申請をしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入院した場合、早期退院に向けて試験外泊やリハビリ訓練の実施等、医療機関との連携を図りながら行っている。また、本人や家族の状況を勘案し、通院治療が必要な利用者に対しては柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院受診は、家族同行となっているが、家族が無理な場合は職員が受診を支援している。嘱託医やかかりつけ医の受診、訪問看護の利用等医療機関との連携を密にしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合、本人、家族を交えて話し合い、かかりつけ医、協力医と相談しながら終末期に向けての対応をしている。系列の福祉法人に介護老人福祉施設、医療法人に病院、介護老人保健施設があり、連携を密にしている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを尊重した言葉かけは優しく、穏やかで管理者の行き届いた指導が感じられた。また、個人情報の取り扱いに関して玄関に掲示してある。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースに合わせた食事の介助、入浴など、日常生活の中で、さりげない言葉かけや対応に配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に楽しそうに盛りつけ、職員も一緒に食事をしている。食後の片づけをする利用者もいて、自主的に取り組む姿が見られた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週3回としているが、入浴を拒む人に対してはタイミングを見て誘導している。利用者が気持ちよく入浴を楽しめるように、柔軟に対応をしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	庭に花を植えたり、草取りをするほか、生きがい活動として刺し子をしたり、本人の力を生かす支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外食、散歩、遠足、買い物、ドライブ等に出かけたり、希望により、趣味の材料の購入に出かけている。また、本人の希望で自宅に自由に帰れるように支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵はかけていない。現在は屋外に出たがる利用者もいないため、鍵をかけない方向で対応している。		

宮崎県宮崎市 認知症高齢者グループホーム悠悠

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を年2回実施し、隣接する他の施設の訓練にも利用者と共に参加している。なお、災害対策として非常食の備蓄もしている。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の献立に沿って、利用者一人ひとりの食べられる物や量を職員が把握している。一人でできない部分を傍らで優しく声かけながら介助していた。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広くて明るいリビングには自由に過ごせる移動畳やソファが設置されている。台所では、食事を利用者と職員が準備しているそばで、ゆったりと待っている利用者もいる。生活感や季節感を感じさせる献立や花を飾るなどの心配りをしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には洗面所、トイレが備えられており、なじみの家具や花、写真、人形等が置かれている。外柵はあるが外に出て、畑などを眺め、居心地よく過ごせる場所になっている。		

※  は、重点項目。